



薬学部
同窓会長
桂 正俊

薬学部

薬学部同窓会は6,000名を超える会員が全国各地で活躍しております。現在同窓会の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で、主にwebを利用した医療薬学セミナーや将来ビジョン講座などを薬剤師支援センターと共催で行っております。また、コロナ禍の中でリモート授業が続いている同窓会準会員である在学生に対して、薬剤師国家試験対策講習会の追加や実務実習のケーシー代の補助など様々な支援を行っております。

一方、昨年は全国17支部(道内7、道外10)と医療薬学セミナーやその地域での業業や医療に関する情報交換を行っているところで、今年度は全国の会員を対象とした拡大研修会を開催したいと考えております。薬学部同窓会は会員数の増加によ

〈創立年:1979年 会員数:約6,370名〉

り、道内支部の細分化と道外の卒業生が減少していることから本州支部の統合やブロック化も含めて現在検討しております。

今後は、コロナ禍以前に開催していた「卒業生・在学生合同懇談会卒業生」や「大学教員とも情報交換会」など感染予防対策をしっかりと行い、徐々に開催をしたいと考えております。

■ <https://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~phalumni/>
■ yaku-dousoukai@hoku-iryu-u.ac.jp



歯学部
同窓会長
袁輪 隆宏

歯学部

親愛なる会員の皆様並びに関係各位の方々におかれましては、平素本同窓会の活動に際し、深いご理解と多大なるご尽力を賜っておりますこと心から感謝し深くお礼申し上げます。

歯学部では、この春40期生が社会に羽ばたき、46期生がめでたく入学され準会員として本会のメンバーに加わります。「会員の福祉と親睦併せて学術向上にそして本学部の発展に寄与すること」を目的とする歯学部同窓会は現在全国に3,000名を超える会員で組織されて、来年設立40周年を迎えます。

行動規制緩和によって明るい兆しが見える今、この度の新型コロナウイルス感染症対策の経験によって得ることのできたリモートによる会議や学術講演会開催などの新たな方法も活用しながらより良い学術活動を続けてまいります。また、再開された歯学部学生の海外短期留学への援助などの学生支援活動も、同窓会の重要な役割だと考えております。

〈創立年:1984年 会員数:約3,312名〉

「お口は健康の窓口」我々の口腔医療は健康を支える医療です。そして、薬学、看護、福祉、心のサポート、回復へのお手伝い、これらの総合力によってこの健康を守ることが出来ます。これからもその責任を皆様と共に果たしていきたいと存じます。是非、仕事も学びも肯定的解釈で頑張ります。

平穏な生活は、まわりの方々のおかげにより成り立っていることに感謝して、皆様のご活躍とご多幸を心からお祈り申し上げ、歯学部同窓会としての挨拶とさせていただきます。

■ <http://www.hoku-iryu-u.com/>
■ dousoukai-honbu@clock.ocn.ne.jp
■ 事務局 札幌市北区北6条西6丁目2-11 第3山崎ビル4F
TEL 011-299-9069 FAX 011-299-9609



看護学部
同窓会長
川村 武昭

看護福祉学部/看護学科・札幌医療福祉専門学校/看護学科

平素より同窓会活動については、格別のご理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。おかげさまで本会(福祉会)の活動も令和9年(2027年)で30周年を迎える運びとなりました。偏に日頃から御尽力をいただいている同窓生の皆様をはじめ、各学部学科の同窓会役員の皆様、そして大学関係者の皆様の協力の賜です。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

さて、今年度の同窓会活動も昨年度に引き続きコロナ禍の影響を大きく受けた一年でした。会員(卒業生)及び準会員(在学生)に向けたセミナーの開催中止をはじめ、会報誌の発行やホームページの運営・管理にも影響が及びました。社会的には「withコロナ」に向け着実に前進していますが、私たち同窓会役員自身が医療従事者として各地域の保健医療教育等の現場を支えるエッセンシャルワーカーの一員であることを考えると、大変遺憾ではありますが、現状、致し方ないことと捉えております。

このような状況下ではありますが、今年度およそ3年ぶりに同窓会役員会をwebで開催し、現在、コロナ禍における今後の同窓会活動の展開について意見交換を継続している

〈創立年:1997年 会員数:約2,700名〉

ところで、まずは例年5月に開催してきた同窓会セミナーの再始動について協議しているところですが、合わせて、これまで同窓会活動の根幹と考えてきた「同窓会名簿」の発行に係る協議や本活動を安定的に継続するための体制づくりに関する事、そして活動の担い手となる後任候補の選定など、いつも役員会では話し合う内容が尽きません。

同窓会の活動として表面化するまでもう少し協議する時間が必要なテーマも少なくありませんが、コロナ禍を経た今だからこそ、将来を見据えた活動を維持・展開していけるよう、今は足元固めに力を入れたいと考えております。4年後に控える活動30周年を一つの節目、目標達成の年と設定し、集合することの意味やその必要性を考慮しながら、webの利点も活用することで会員との双方向性の交流が図れる仕組みを整えていきたいと考えております。今後引き続き福祉会をどうぞよろしくお願ひ致します。

■ <https://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~kango/>
■ kango@hoku-iryu-u.ac.jp



臨床福祉学部
同窓会長
小畑 友希

看護福祉学部/福祉マネジメント学科・札幌医療福祉専門学校/介護福祉学科

2023年は看護福祉学部設立から30周年を迎えます。当同窓会も医療福祉学科、臨床福祉学科卒業生と、札幌医療福祉専門学校介護福祉学科卒業生と合わせて2,000名を超える大所帯となりました。また、2022年4月に学科名が変更されたので今後は福祉マネジメント学科卒業生も加わることになりました。

さて、新型コロナウイルスの出現はこれまでのやり方を急激に変化させました。例えば役員会もリアル会議からオンライン会議が通常になりました。オンラインでは遠方や他の会議の直後でも参加できる良さもありますが、リアルでは同じ空気感で共有できるかけがえのない良さがあります。中高生のための医療ソーシャルワーカーセミナー「病院ではたらく相談のしごと」体験講座は、7月と10月に、リアルとオンラインのそれぞれの良さを活かしてハイブリッド形式で開催致しました。

〈創立年:2000年 会員数:約2,186名〉

さらに、集合型の臨場感と手軽さを融合させ、身近な同窓生と大学の先生が集う小規模同窓会企画を新事業として立ち上げていきたいと計画しています。コロナ禍でも分散型の小さな集まりで、懐かしい恩師や友人からエネルギーチャージすることを応援できればと思います。

時代の変遷とともに同窓会活動もインベーションしなければなりません。今後とも皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

■ <https://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~fukudo/>
■ fukudo@hoku-iryu-u.ac.jp



臨床心理学科
同窓会長
上河邊 力

心理科学部/臨床心理学科

平素より同窓会活動への格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。当同窓会では、昨年度までに構築したIT技術を活用した運営体制を活かし、在校生や卒業生の皆様方へ向けた様々な活動を今年度も実施してまいりました。

まずは、例年実施してきました心理学とその関連領域をテーマとして同窓会セミナーの開催です。YouTubeライブを活用したオンライン配信は多くの皆様方にご好評をいただき、全2回のセミナー視聴者は300を超えました。特に、医療大学以外の心理学を学ぶ学生や医療大学出身ではない専門職の方々のご参加が半数以上を占めており、大学の広報にも大きく貢献できたのではないかと感じています。

また、コロナ禍にあって以前のように集まりあって歓迎会を実施できない在校生の事情を知り、今年度は同窓会が中心となってZOOMを活用した新入生歓迎会を実施しま

〈創立年:2006年 会員数:約650名〉

した。在校生が1人も参加してくれなかったらどうしようかという不安もありましたが、嬉しいことに、新1年生を含む28名の在校生が参加してくださいました。

その他にも、オンラインでの就職相談会の開催や公式LINEを活用した情報発信など、昨年度から取り入れた新しい同窓会活動にも一層磨きをかけています。来年度は、同窓会セミナーに対面方式も復活させ、オンラインとのハイブリッド開催も検討しています。当同窓会は、これからも同窓生の皆様方のために決して止まることなくサポートを継続します。引き続きご支援を賜りますよう、謹んでお願ひ申し上げます。

■ <https://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~p.dousou/>
■ shinri-dousoukai@hotmail.co.jp



理学療法学科
同窓会長
武田 智洋

リハビリテーション科学部/理学療法学科

平素より理学療法学科同窓会の活動にご理解ご協力をくんだり、誠にありがとうございます。日頃から活動に対して積極的にご協力頂いている同窓会役員をはじめ、他学部同窓会の皆様、本学関係者の皆様には改めて御礼申し上げます。

本学に理学療法学科が開設されてから10年が経ち、今年は7期生が社会人デビューを果たしました。今年もまた「北海道医療大学」から「理学療法士」が誕生したことを嬉しく思っております。これまでの卒業生は北海道内のみならず、全国各地の医療機関や福祉施設等で活躍しています。7期生の皆さん、初めての仕事で慣れないことや多くの悩みが生じることがあるかと思えます。そのような時は身近にいる卒業生に声をかけ、些細なことでも相談してみてください。きっと先輩である皆さんのことを優しく支援し、心強い存在とな

〈創立年:2017年 会員数:約300名〉

ってくれるはずですよ。同窓会としても卒業後のサポート体制をさらに充実させていきたいと考えています。卒業教育の一環として、各分野において著名な先生や当学科教授を招いてのセミナー開催を企画しています。知識・経験が豊富な先生による講演や、学生時代を知る先生にだからこそできる相談など、「明日につながる」内容を求め、実践していきたいと思っております。

引き続き後援会の皆様をはじめ、他学部同窓会の皆様にご指導を頂きながら、本学の発展、同窓生のさらなる活躍の一助となるべく活動をして参りたいと思ひます。

■ <https://iryoudaipt.web.fc2.com/> ■ iryoudaipt@gmail.com



作業療法学科
同窓会長

田丸 仁啓

リハビリテーション科学部/作業療法学科

作業療法学科同窓会は、開設より7年目を迎えます。設立初年度より顧問である作業療法学科近藤里美教授、他学部同窓会会員の皆様には多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。現在は約210名の同窓会員で活動しており、今後も毎年30～40名とまだまだ少ない会員数の期間が続きます。少人数という特徴を活かして密に連携をとりながら、当同窓会が同窓生、在学生、在学生のつながる場としてあり続け、発展していくことを願っております。昨年度もCOVID-19の流行により同窓会活動も大きく制限されることになりました。その中でも少しでも同窓生への還元をするべく、7月には以前本学にて講師を務められておりました北海道大学の澤村大輔先生にご協力を頂き、「リハビリテーションのための画像の見方～高次脳機能障害を中心に～」と題し講演を頂きました。参加された同窓

生からは満足度の高い感想も聞かれ充実した時間を過ごすことが出来ました。今後も厳しい社会情勢が予測されますが、どうかこの状況をいち早く打開すべく、医療人として日々新しい情報を取り入れ行動していくことが非常に重要であると改めて考えさせられました。今年度も同窓生の皆様へ還元できるよう同窓会セミナー等の開催も検討して参ります。

最後に北海道医療大学後援会の皆様、各同窓会会員の皆様のご理解、ご協力の下に当会の運営が成り立っていますことに深く御礼申し上げます。

■ <https://www.ot40-jp.webnode.jp/>
■ hokuriyodai.ot@gmail.com



言語聴覚療法学科
同窓会長

石黒 恵美子

心理科学部・リハビリテーション科学部/言語聴覚療法学科・ 札幌医療福祉専門学校/言語聴覚療法学科 言語聴覚療法専攻学科

当会は札幌医療福祉専門学校の言語聴覚療法学科の第1期卒業生により設立され、今春も新たに卒業生をお迎えしています。「同窓会セミナー」の企画・運営と年に2回の会報の発行を通し現役生・卒業生の皆様への情報提供を中心に活動してまいりましたが、昨年に続き今年度も新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、主な活動を休止し会計管理と会員データのメンテナンスを行っております。

言語聴覚療法学科単独での同窓会セミナーは休止中ですが、今年で16回目となる他学部同窓会と合同開催の「口から食べられる理想に向かって」をテーマとした講演会の企画運営を継続しております。毎回2名の講師をお招きし、卒業生他関連職種の皆様が参

加され、お陰さまで毎回好評をいただいております。このAdvanceが皆様のお手元に届く頃には、無事に講演会が終了し、来年度の開催についての話し合いが始まっていることと思います。引き続き多くのご参加いただけることを願っております。

最後に、この場をお借りし北海道医療大学後援会の皆様・内外の先生方のご理解・ご協力を賜り運営を行っておりますことに、深く御礼申し上げます。

今後とも同窓会活動を通じて皆様のお役に立てるよう、役員一同努力して参ります。

■ st-kai@hoku-iryuo-u.ac.jp

北海道医療大学同窓会支部等連絡先

■薬学部

支部名	支部長(期)
札幌支部	多田 正人(4)
道北支部	沼野 達行(10)
十勝支部	石原 敦(3)
道南支部	吉田 元(12)
釧根支部	羽田野 貴志(11)
オホーツク支部	森谷 俊憲(13)
日胆支部	寺口 元(6)
青森支部	三上 章(1)
栃木支部	豊住 暢臣(17)
茨城支部	青木 邦子(4)
北越支部	杉本 雅規(3) ※支部長代理
神奈川支部	萩原 秀男(5)
東海支部	高尾 信彦(2)
関西支部	山口 和俊(9)
中四国支部	黒長 正明(9)
九州支部	山田 昌人(3)
沖縄支部	村田 成夫(4)

■歯学部

支部名	支部長(期)	連絡先
北海道支部連合会	佐藤 明理(4)	医療法人社団明雄会そのま歯科 ☎011-387-8811
青森県支部	佐藤 孝治(2)	佐藤歯科医院 ☎0172-36-0412
岩手県支部	高野 玄(18)	高野歯科クリニック ☎0197-23-2488
宮城県支部	郷家 道彦(10)	郷家第二歯科医院 ☎022-223-3306
秋田県支部	石川 承平(14)	いしかわ歯科・矯正歯科 ☎018-887-3988
山形県支部	芳賀 俊和(5)	芳賀歯科医院 ☎0238-84-8107
福島県支部	外島 昭夫(7)	ホワイト歯科医院 ☎024-875-3232
茨城県支部	秦 博文(2)	社会医療法人愛宣会ひたち医療センター歯科 ☎0294-37-0713
栃木県支部	亀田 智(4)	亀田歯科 ☎0282-55-5118
群馬県支部	※前支部長逝去のため、後任は現在未定	
埼玉県支部	青木 聡(7)	あおき歯科医院 ☎049-256-2220
千葉県支部	寺山 功(4)	葉山歯科医院 ☎0471-64-6480
東京都支部	蛭名 勝之(5)	エビナ歯科医院 ☎03-3200-4818

支部名	支部長(期)	連絡先
神奈川県支部	阿部 智彦(2)	阿部歯科医院 ☎045-953-7676
山梨県支部	安田 伸一(13)	やすだデンタルクリニック ☎055-243-8461
長野県支部	小池 文一(2)	小池歯科医院 ☎026-224-1482
新潟県支部	山下 克弥(9)	わかば歯科医院 ☎0258-83-1010
富山県支部	藤川 晃(5)	藤川歯科医院 ☎0764-83-2231
石川県支部	久保 伸一郎(2)	栗津歯科医院 ☎0761-44-4852
愛知県支部	木村 英雄(1)	こめの歯科医院 ☎052-451-1182
京都府支部	堀内 光一(10) ※支部長代理	堀内歯科医院 ☎0774-21-4016
近畿地区	瀧本 智朗(17)	とも歯科医院 ☎06-6654-6831
広島県支部	神原 滋(6)	明王台クリニック ☎084-952-2281
四国支部	谷本 良司(3)	医療法人谷本歯科医院 ☎0883-42-2069
九州支部	清川 宗克(3)	清川歯科・口腔外科クリニック ☎092-822-8805
沖縄県支部	玉城 均(1)	ながた歯科医院 ☎098-854-1182

■看護福祉学部

☎0133-23-1211
○看護学科(内線:3641)担当:明野(実践基礎看護学講座)
○福祉マネジメント学科(内線:3708)担当:池森(介護福祉学講座)

■心理科学部・リハビリテーション科学部

☎0133-23-1211
(学務部 心理科学課・リハビリテーション科学課)
○臨床心理学科 ○作業療法学科
○理学療法学科 ○言語聴覚療法学科



歯科衛生士専門学校
同窓会長

梶 美奈子

歯学部附属歯科衛生士専門学校

平素より、同窓会活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。2019年末から始まったCOVID-19は、2022年を過ぎても猛威を振るい、マスクのある生活自体が普通を感じられています。諸外国ではマスク着用なし、国内の観光地を見ても外国人の姿が増えました。街中の賑わいとは裏腹に臨床の場では、一層息を引き締めなければなりません。

多くの卒業生が臨床の場で活躍し、学生さんの臨床実習先でも日々学生教育に関わっております。「青春ってすごく密なので」という言葉が今年の新語・流行語大賞にノミネートされました。学生さんたちにとっては、若く楽しい時期に同じ学舎で過ごした仲間との時間は何事にも代え難いものだと思います。学校で、臨床実習先で同窓生たちは、より安心・安全に学び、実習が行えるようにサポートしてきました。色々な制約のある中で一生懸命学ぶ学生さんたちを卒業生は一人一人として指導していると思います。学生さんたちを取り巻

く環境は一昔前と大きく変わっていますが、同窓生は変わらず、温かく見守っております。さて、2022年度本会の活動は、他学部の皆様と協力して行う「コラボ☆講演会」から始まり、2021年に引き続きwebによる歯科衛生士セミナーを開催しました。参加していただいた方々からは、「大変良かった」と、お言葉をいただきました。また、理事会や総会もwebで開催することができたので感染の心配や危険なくスムーズに意見交換することができました。ICTを活用し、時間や距離の制約無しにたくさんの方々と知り合いになることができるようになりましたが、それでもそろそろ「密」が恋しく感じられます。

■ <https://www.hoku-iryuo-u.ac.jp/~katakuri/>
■ okahashi@hoku-iryuo-u.ac.jp

歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会支部連絡先

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 ☎0133-23-1211(内線:3482)担当:大山・岡橋

卒業生を対象とした各セミナー・
公開講座に関するお問い合わせ先

学術交流推進部
地域連携課

☎0133-23-1129(直通) E-mail:nice@hoku-iryuo-u.ac.jp